

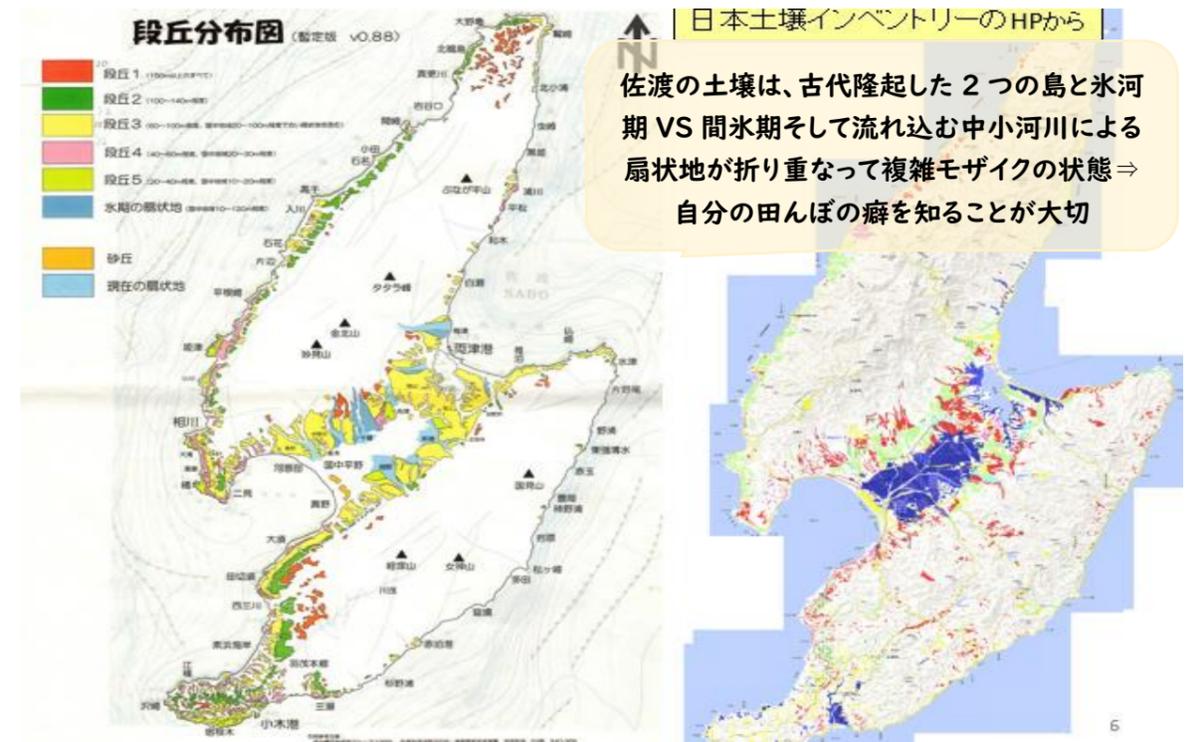
令和5年度 佐渡米プロジェクト春作業指導会資料

気象変動に負けない佐渡流米作り3本柱！

- 一、複雑な佐渡田んぼの土壌特性を理解しよう！
- 一、ケイ酸肥料で高温に打ち勝つ稲にしよう！
- 一、高温登熟回避の為、田植えは5月10日以降にしよう！

令和5年3月11日佐渡米生産者大会で、「気象変動に負けない佐渡流米作り3本柱」が参加者全員により確認されました！

				
可溶30%	可溶30%	可溶34%	水溶55%	シリカ-(ケイ酸)を添加してある
流し込みでは、白色の粒が水で運ばれ拡散してから土中で徐々に溶け出す	土中で徐々に溶け出す	土中で徐々に溶け出す	散布後すぐ溶け出すので、吸収の盛んな幼穂を形成し始めるとき	保証成分表示はありませんが、ケイ酸を含み、硬く丈夫な苗になる
中干後流込み・基肥も可	基肥・乾く田なら秋も可	基肥・乾く田なら秋も可	出穂前40日	育苗床土に使用、NPKはホネズ培土1号と同じ



【気象変動は続きます！】

- ①ケイ酸投入を中心とした土づくり(流し込みができない、基肥として早く撒きたい⇒可溶性ケイ酸を含む肥料なら耕起前散布ok)
- ②土壌診断でケイ酸値目標(15mg/100g)値を超えててもok、5年分まとめて施肥した事例も有、他県目標で30mg/100gも有)
- ③種まきや労力確保の為 4/29,30,1,2,3,4,5,6,7 田植え予定で、変更可能なら 5/10 以降に！但し浸種・催芽・播種・移植・溝切・穂肥・収穫が後連れするので年間作業計画の見直しを！
- ④前年から品種を変えたほ場では、漏生粃から出芽を止める為、移植前に初期除草剤(プレチラコール含む)「ソルネット」「エリジャン」を散布する。
●但し認証米コシヒカリのカントリーエレベータ出荷はできなくなります。

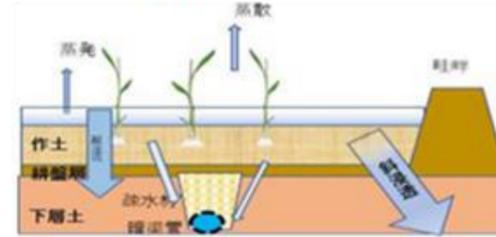
1) 本田準備について

① 畔塗

畔塗りは土壤に適度な水分がある時期に実施。

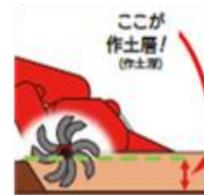
【 畔塗りの効果 】

- (1) 漏水の防止
- (2) 除草剤の効果発揮
- (3) 肥効の 100% 発揮
- (4) 活着促進



② 耕起

耕起は、なるべく乾いた状態（乾田耕起）で実施。
春耕耘の深さは 12~15cm を目標。

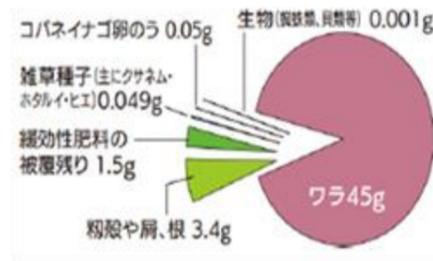


③ 代かき

ジャブジャブたっぷり水ためての
代掻き → **浅水代掻へ**

【 浅水代かきの効果 】

- ・ 節水が可能、不要にたくさんの
- ・ 水を使わない → 集落の水も潤う
- ・ 田面均平化の精度が向上（田面の状態が確認しやすいため）
- ・ 田植え時落水する必要がない為、肥料成分を含んだ水の流出が防げ、肥料が無駄にならず環境にやさしい
- ・ 稲わら・雑草種子、肥料のプラスチック殻を土の中に埋め込みやすい



※浅水代かきの詳しい作業方法については
佐渡米カレンダーの3月ページをごらんください。

④ プラスチック肥料殻流出防止

肥料殻流出防止ネットの設置
風で吹き寄せられた藁くずは田んぼから
引き揚げ撤去しましょう！

2) 種子余措～育苗

① 比重 1.13 の塩水で充実の揃った種籾を選抜

生卵でなく、比重計を購入し、精度の高く選抜する
沈んだ籾のみ取りだし、水洗いし、すぐに浸種に入る

② 浸種初日は 10~12°C 水温に漬ける

かならず温度計で水温を測定する

温湯済種子は3日に1回水を更新する、水温を測定し 10°C 未満のときはお湯を加え 10°C にする

浸種場所によって容器の水温は変わるので、水温の測定とあわせ容器下にある種籾袋と上にある袋の芽の状態を細かく観察する

③ 催芽器は年度初めは試運転し、ポンプや電熱の状態や度設定どおり動くか確認する

水温は 30°C 高すぎても低すぎても罹病のリスクが高まる

初期水温や外気温によっても左右される

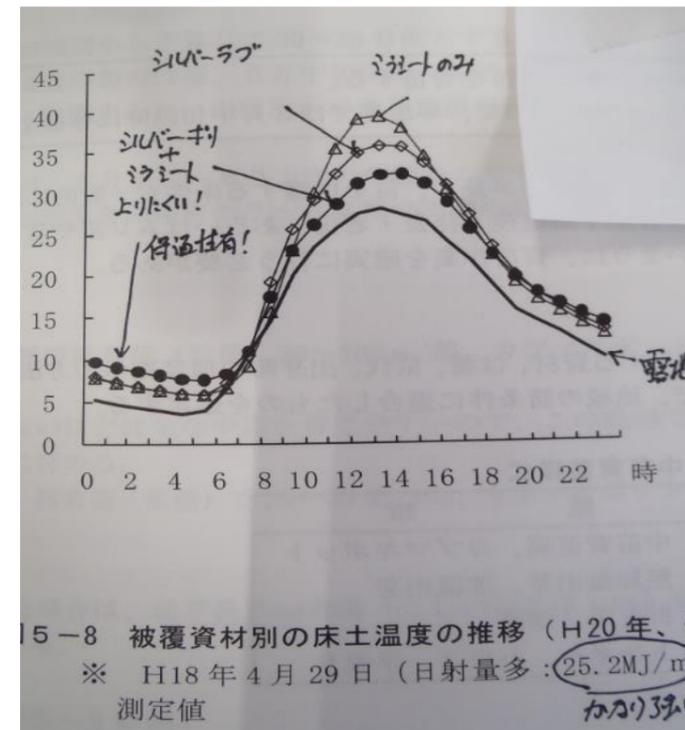
④ ハウス準備も余措作業の一つ

早めにハウスを被覆し、地温を上げる

プール育苗にこだわらず可能な限り平（均平）にする

【被覆資材豆知識】

被覆資材の素材によって保温効果遮光遮熱効果が異なる



VS



15-8 被覆資材別の床土温度の推移 (H20年、作
※ H18年4月29日 (日射量多: 25.2MJ/m²)
測定値



世界農業遺産の島！トキと共生する島！

佐渡でしかできない 農業をしませんか？

トキとの共生を目指し、田んぼの生態系に配慮した「生きものを育む農法」の取り組みや棚田などの美しい景観、昔から受け継がれている伝統的な農文化が評価され、島全体が「トキと共生する佐渡の里山」として2011年6月に日本で初めて世界農業遺産(GIAHS)に認定されました。

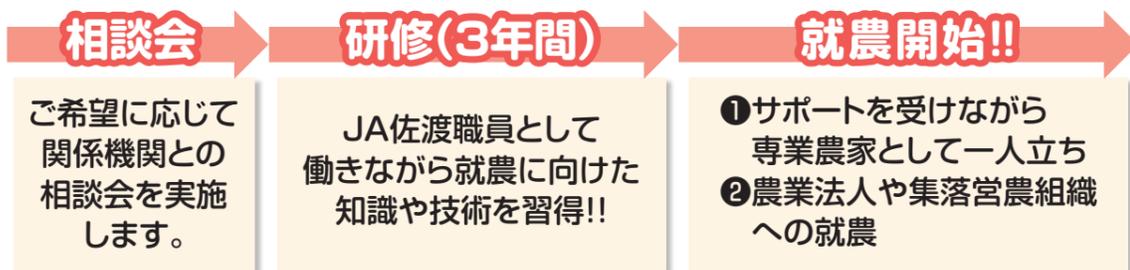


※世界農業遺産とは、世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域を、国際連合食糧農業機関が認定する制度です。

手厚いサポートで移住・就農！ JA佐渡の就農研修制度

JA佐渡では、職員として働きながら実践的な農業を学べる“新規就農研修制度”があります。佐渡の農業や文化を守り、盛り上げていってくださる方の応募をお待ちしております。

JA佐渡の新規就農研修制度の概要



制度についてまとめたパンフレットをJA佐渡のHPでご覧いただけます。



さど暮らしの疑問・質問・相談は

お問い合わせはお気軽に



〒952-0202 新潟県佐渡市栗野江1814-1
定休日: 毎週水・木および年末年始(予約制)
<https://sadouiturn.com>



※お問合せはHP内のお問合せフォームをご利用ください



営農振興部 営農振興課
〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保44番地1
TEL: 0259-63-3106
<https://www.ja-sado-niigata.or.jp>

